

# 青年海外協力隊 エクアドルでの活動



ボーイ隊副長  
毛呂 太亮

- JICA(国際協力機構)の人的派遣の一環である  
青年海外協力隊としてエクアドルに2年間派遣された
- 派遣期間:2015/1-2017/1 2年間
- 派遣国:エクアドル共和国
- 派遣職種:環境教育



# エクアドルについて

- 南アメリカにある国。人口は1700万人、首都はキト。
  - カトリックの国であり、公用語はスペイン語。
- 主な観光地に赤道記念碑とガラパゴス諸島がある。



- 民族は主に、ヨーロッパ系、メスティーソ(混血)、原住民族がおり原住民族にはアンデス山脈のケチュア族アマゾン地帯のシュアル族

- 地理は海岸地帯、山岳地帯、熱帯雨林地帯がありバラエティ豊か。
- アマゾン地帯のYantzaza (ジャンササ)という場所で活動していた。

# エクアドルの食事

- 主食は、米・芋・キャッサバ・トウモロコシ・小麦  
バナナと、多種多様
- 地域によって食べられるものが異なり、地域の  
色が濃い

その中でも全域で食べられているものは

Hornado de chanco (豚の丸焼き)

Encebollado (ツナと玉ねぎのスープ)

Cebiche (魚のマリネ)

Cuy (クイという大きなネズミの丸焼き) などがある



Hornado de chanco  
(オルナード デ チャンチョ)



Encebollado (エンセボジャード)



Cebiche (セビチェ)



Cuy (クイ)

# 活動内容

エクアドルでは、ジャンササという街に派遣され、環境教育の部門で活動していた。

具体的な活動内容としては

- ◆コンポスト技術(生ごみを堆肥に替える技術)の導入
- ◆学校で生徒への環境啓発活動
- ◆市民へのゴミ分別啓発活動
- ◆環境教育向上の講義

エクアドル、ジャンササ市では、ゴミの分別は3種類に分かれています。市民が分別をできているとは言えない。

そこでゴミ分別の啓発活動を行い、環境教育の一環としてコンポストの導入を図った。



## ゴミの最終処分場





一日に最終処分場に送られてくる生ゴミ。



これを攪拌してコンポストの素と混ぜて熟成させ堆肥にしていく。





## ゴミの裁断機



コンポスト(家に置いて家庭ゴミを小さく切って混ぜると3日くらいで形がなくなり3週間で堆肥になる)

# 学校での啓発活動

